

I 環境の現況

1 本市の温室効果ガス排出量

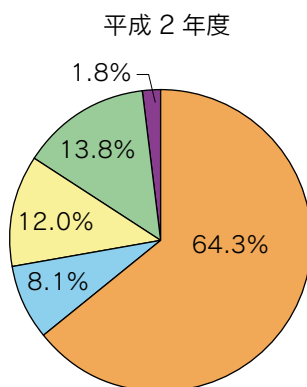
本市の温室効果ガスの排出量は、平成2年度の1,478千t-CO₂/年から、平成17年度の1,754,755t-CO₂/年へと、この間に18.7%増加しています。

市民一人あたりの二酸化炭素排出量を見ると、平成2年度の10,437kg-CO₂/年から、平成17年度の10,213kg-CO₂/年へと、約2%減少していますが、民生家庭部門では27%増加しています。

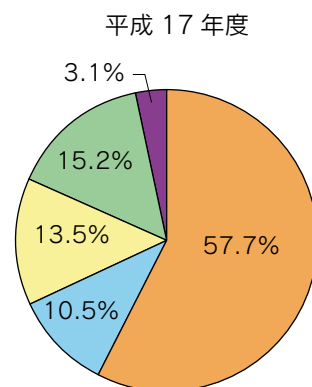
二酸化炭素排出量を部門別に見ると、平成17年度では産業部門が57.7%と非常に大きくなっています。ただし、比率は平成2年度の64.5%から小さくなっており、他の部門での増加が大きいことがわかります。

■安城市における二酸化炭素排出割合

	平成2年度 (1990年)	平成17年度 (2005年)		平成32年度推計 (2020年)	
	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	対平成2年比	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	対平成2年比
産業部門	950,855	1,013,000	106.5%	1,014,030	106.6%
民生家庭部門	119,418	184,117	154.2%	201,365	168.6%
民生業務部門	177,573	236,926	133.4%	268,628	151.3%
運輸部門	204,747	266,260	130.0%	283,816	138.6%
廃棄物部門	25,798	54,452	211.1%	56,062	217.3%
計	1,478,391	1,754,755	118.7%	1,823,901	123.4%
市民1人あたりの排出量 (全体)	10437kg-CO ₂	10213kg-CO ₂	98%	9753kg-CO ₂	93.4%
市民1人あたりの排出量 (民生家庭部門)	843kg-CO ₂	1072kg-CO ₂	127%	1077kg-CO ₂	128%



産業部門
民生家庭部門
民生業務部門
運輸部門
廃棄物部門



産業部門
民生家庭部門
民生業務部門
運輸部門
廃棄物部門

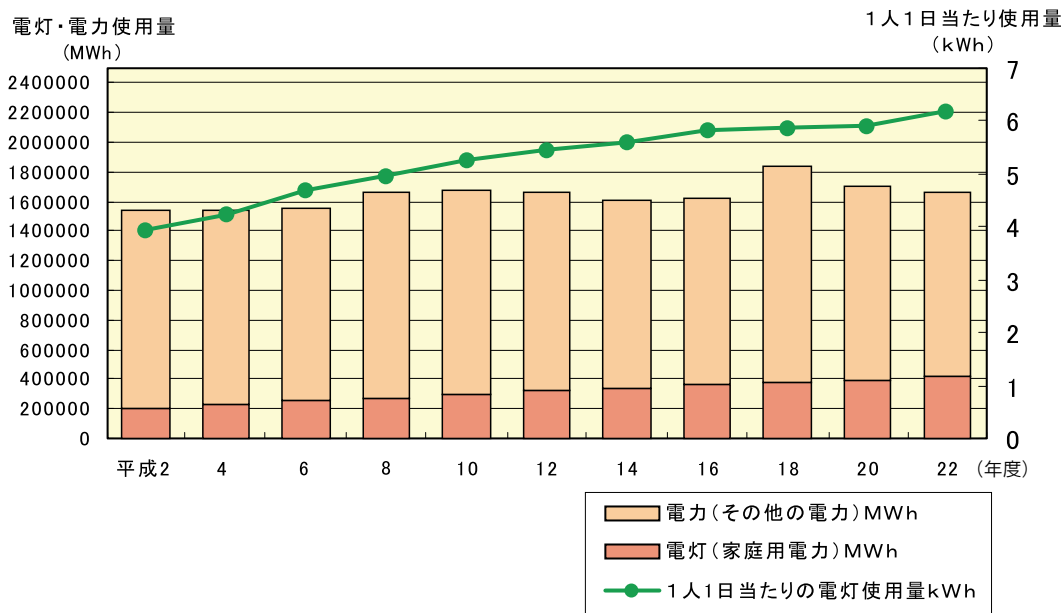
2 エネルギー等消費量

近年、市内の電力（家庭用電力以外の電力）使用量、電灯（家庭用電力）使用量は両方とも増加しています。平成 22 年度では、平成 2 年度に比べ 8.0%増加しています。また、市民 1 人 1 日当たりの電灯使用量については、平成 2 年度に比べ 57.4%増加しています。

都市ガスに関しては、平成 2 年度の年間 1,151 万 m³から平成 22 年度の 11,100 万 m³へ約 9.6 倍と著しく増加しています。

上水道の配水量は、普及人口及び戸数の増加に伴い、やや増加傾向にあります。

■市内の電灯（家庭用電力）・電力（その他の電力）使用量の推移



資料) 安城市及び愛知県；中部電力、全国；「日本統計年鑑」

3 市役所の率先行動

市役所では、平成 10 年 10 月に「地球にやさしい環境都市」を宣言し、本市が行う事務事業において、環境負荷低減のための率先行動を積極的に推進しています。

平成 12 年 4 月に ISO14001[※]の認証を取得してから、省エネルギー・省資源などの環境配慮行動に取り組み、平成 14 年 3 月「安城市役所地球温暖化対策実行計画」を策定するなど、市の全ての公共施設において環境マネジメントシステムを運用し、環境負荷低減に努めてきました。こういった取り組みの成果も着実にあがっており、市職員の環境意識も高いレベルに保つことができていることから、審査によらず ISO14001 に基づくシステムを実施、運用できると判断し、平成 23 年 1 月 1 日環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 に適合していることを自ら宣言する「自己宣言」を行いました。

市では「自己宣言」により、さらに積極的に環境への取り組みを推進し、継続的改善とめざす都市像「市民とともに育む環境首都・安城」の実現をめざします。

※ ISO14001：国際標準化機構（ISO）が発行した環境管理システムの国際規格で、各事業主体が自主的に環境負荷を低減させるための数値目標や計画を定めて運用し、外部審査機関による認証を取得するシステムです。安城市役所は、継続的な環境の保全と改善に取り組むため、平成 12 年 4 月 25 日に ISO14001 の認証を取得しました。

II 施策の実施状況

(11) 地球温暖化防止対策の推進

基本的な考え方

一人ひとりの小さな行動が地球全体の温暖化に影響をおよぼしていることを認識し、地球温暖化防止に配慮した行動に努めていきます。

① エネルギー消費量の削減

市の率先行動の実施と、市民・市民団体・事業者の意識啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
市施設から排出される温室効果ガスの 総排出量(二酸化炭素換算値)	27,108t	25,060t	24,397t
地域協議会設置	0 協議会	1 協議会	1 協議会

② 新エネルギー・未利用エネルギーの積極活用の推進

公共施設においては積極的に新エネルギー・未利用エネルギーを採用し、かつ市民に広く働きかけます。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
市内における太陽光発電設備容量	1,204kW	7,300kW	2,890kW
太陽光発電の設置してある公共施設	4 か所	19 か所	11 か所
水力発電設備発電量	0kWh	157,000kWh	373,000kWh
太陽光、風力発電設備併用型照明機器設置数	0 基	26 基	14 基

(12) 地球環境保全に貢献

基本的な考え方

オゾン層の破壊、酸性雨、熱帯林の減少等の複雑で多様な地球環境問題に対する情報、知識を備え、その防止に向けて積極的に取り組んでいきます。特に、公共工事の実施に当たっては、環境負荷を低減するための配慮を徹底し、市民・事業者にも広く啓発していきます。

① 環境配慮型公共工事の推進

公共工事の実施に当たっては、環境負荷を低減するための配慮を徹底します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
公共工事で使用する砕石及びアスファルトコンクリートの再生利用率	93%	98.9%	95%
公共工事で発生する土の再利用率	95%	100.0%	95%
公共工事で使用する非熱帯材併用型枠、金属型枠及びプラスチックの代替型枠の使用、並びに転用型枠の使用率	62%	67.9%	65%
公共工事で使用する再生品（あいくる材）の利用率	96%	100.0%	98%
公共工事の施工における環境配慮型建設機械の使用率	—	100.0%	90%

② オゾン層の保護等、地球規模の環境問題に対する取組

オゾン層破壊、酸性雨、熱帯林の減少、砂漠化の進行など、地球規模の環境問題に対して率先して取り組み、情報提供と防止意識の啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
学校等公共施設における間伐材利用施設	2か所	20か所	20か所

I 環境の現況

1 市民・市民団体の活動及び参加

道路や公園、河川などの公共施設の環境美化をすすめるボランティアによるアダプト団体やホテルの住めるせせらぎづくり等、市民主体による環境関連活動が成果を伴って進められています。



アダプト団体

2 広域的な連携

衣浦東部や西三河地域の周辺市と広域的な連携を図っています。
姉妹都市及び友好都市との間に、交換留学等の市民レベルからの交流を図っています。

3 環境情報の公開

市民参加型の環境調査やイベントが行われています。
安城市の環境の状況並びに環境の保全や創造に関して講じた施策をまとめた「安城市環境報告書」を年1回発行しています。
広報あんじょうや市ホームページ「望遠郷」及びさまざまなイベントを通じて、環境情報を提供しています。



サンクスフェスティバル

4 環境学習

市内小中学校では、総合的な学習の時間を使って自然環境調査、ごみ問題、地球環境問題などさまざまな取り組みが行われています。また、国道23号美化活動、油ヶ淵清掃活動、学区クリーン作戦などの活動が実施されており、環境学習の実践の場となっています。

公民館を始めとする生涯学習関連施設では、多くの環境講座を開催しています。



小学生の環境講座

II 施策の実施状況

(13) 市民・事業者・市のパートナーシップの形成

基本的な考え方

市民・市民団体・事業者・市のそれぞれが自発的に努力し、良好なパートナーシップを構築することにより、積極的に環境保全に取り組んでいけるまちにしていきます。

① 良好なパートナーシップの形成

環境NGO、NPO*などの環境関連団体や地域コミュニティ形成を支援し、市民・市民団体・事業者・市のより強い信頼関係を構築します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
環境関連イベント開催回数	3回	2回	4回
環境学習開催数(園児)	2回/園・月	5回/園・月	4回/園・月
環境学習開催数(児童)	7回/年	18回/年	14回/年
協働講座の実施団体数 開催数	3団体 11講座	13団体 21講座	5団体 20講座
環境アドバイザー登録人数	40人	51人	80人
広報紙への環境情報掲載件数 インターネットによる環境情報の発信回数	105件/回 17回/年	122件/回 49回/年	110件/回 20回/年
地域協議会設置	0協議会	1協議会	1協議会
省エネ講座開催数	2回/年	11回/年	2回/年
エコライフキャンペーン実施回数 (D30 チャレンジモデル事業含む)	0回/年	1回/年	2回/年

② 市域を越えた広域的連携の強化

衣浦東部あるいは矢作川水系等については、広域的な連携を強化し、有効的・効率的に事業を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
川と海のクリーン大作戦開催数	1回	1回	1回
あんじょう市民活動情報サイトの登録団体数	0団体	354団体	295団体

*環境NGO、NPO：環境に関連するさまざまな非営利活動を行う非政府、民間の組織のことをいいます。

(14) 環境情報の共有化

基本的な考え方

誰もが容易に正確な情報を取得できるシステムづくりにより、環境に配慮した取り組みを積極的に進められるまちにします。

① 環境問題に関する意識啓発の推進

さまざまな環境問題に対する市民の意識向上を図るとともに、情報の共有化を目的とした啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
保育園だより等による啓発回数	2回/園・年	7回/園・年	3回/園・年
学年だより等による啓発学校数	5校	29校	29校
出前講座学校数	0校/年	6校/年	7校/年
エコライフキャンペーン実施回数 (D30 チャレンジモデル事業含む)	0回/年	1回/年	2回/年
エコライフコンテスト実施	未実施	未実施	実施

② それぞれの主体間における環境情報交換の活性化

市では環境資源に関するインターネットのホームページを整備するなど、多様な主体から情報を発信・受信できる体制を確立させ、環境情報の共有化を推進します。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
環境報告書作成・発行回数	1回/年	1回/年	1回/年
環境保全講習会の開催回数	1回/年	1回/年	1回/年

(15) 環境教育・学習の推進

基本的な考え方

地域から全市、こどもからお年寄り、場所や世代にかかわらず、すべての人が積極的に学習機会を得られるように努力をし、学習結果が行動に結びつくまちにしていきます。

① 環境学習拠点等の整備

環境教育の学習機会拡充を目的として、学習拠点のネットワークを充実させていきます。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
教員研修会開催回数	1回/年	4回/年	4回/年
せせらぎ、ピオトープ数	12校	21校	18校
こどもエコクラブの登録団体数	23団体	24団体	26団体
環境面を重視した事業の採択学校数(累計)	2校	17校	18校

② 環境学習の積極的推進

環境関連イベントの開催や、歴史文化施設の有効活用を行い、環境学習の推進に関する啓発を行います。

成果指標	基準値 (2004年)	実績 (2010年)	最終目標値 (2010年)
中学生の収集作業体験学習受け入れ数	10	10	10
環境アドバイザー派遣回数	7	99	50
社会人活用回数	20	68	60
自然教室実施学校数	28	29	29
環境問題・環境保全に関する作品展示数	0	177	100
食育教室の開催回数	3	20	10
保育園・幼稚園版 ISO14001 取組園数	0	0	27
全体計画作成学校数	0	29	29